

福島第一原子力発電所事故に係る 特別調査結果の概要について

平成30年2月5日(月)

茨城県 生活環境部 防災・危機管理局 原子力安全対策課

目次

1. 環境放射線の測定結果 (P.3～4)
2. 海水浴場の測定結果 (P.5)
3. 海水・海底土の測定結果 (P.6)
4. 公共用水域の水質・底質測定結果 (P.7～8)
5. 農畜水産物の出荷制限・自粛, 解除の状況
(P.9)

1. 環境放射線の測定結果

(1) 航空機モニタリング(原子力規制委員会)

＜平成28年度＞

○ 測定時期

平成28年9月14日～11月18日

○ 測定範囲

福島第一原子力発電所から80km圏内及び80km圏外(福島県, 宮城県, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 岩手県南部, 山形県東部, 千葉県北部, 埼玉県東部)

○ 測定結果

・H28年11月時点で県内の約93%が $0.1 \mu\text{Sv/h}$ 以下となっている。

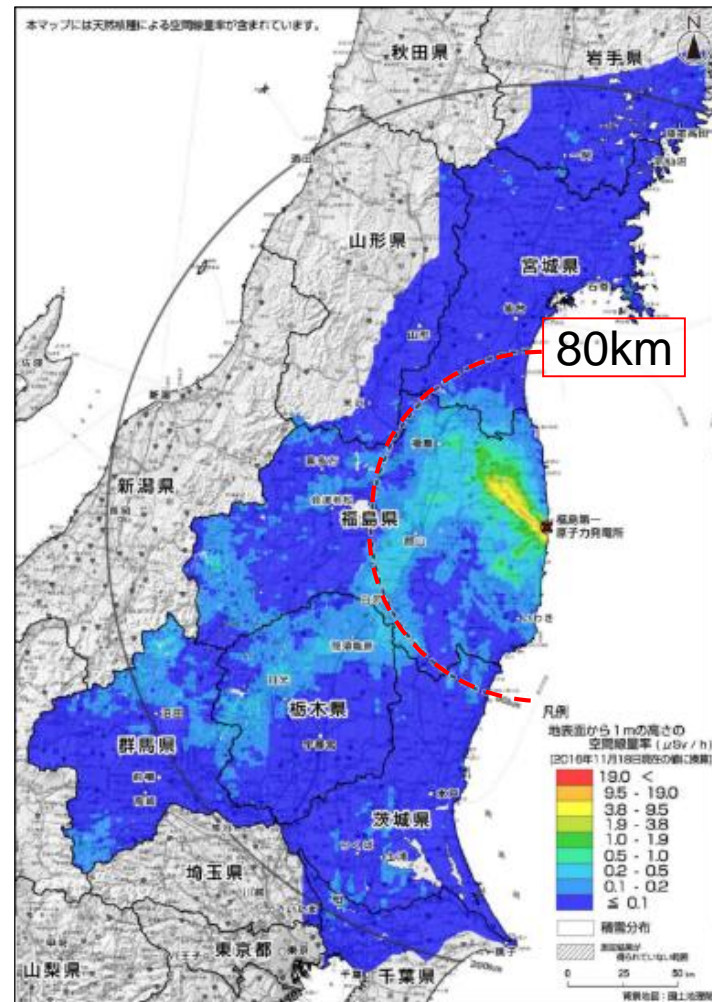
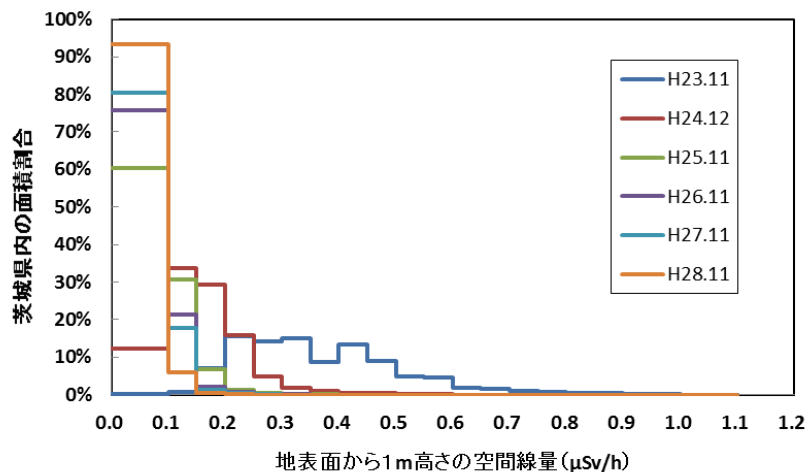


図 航空機モニタリングの結果
(地表面から1m高さの空間線量率)
(平成28年11月18日の値に補正)

(2) 空間線量率

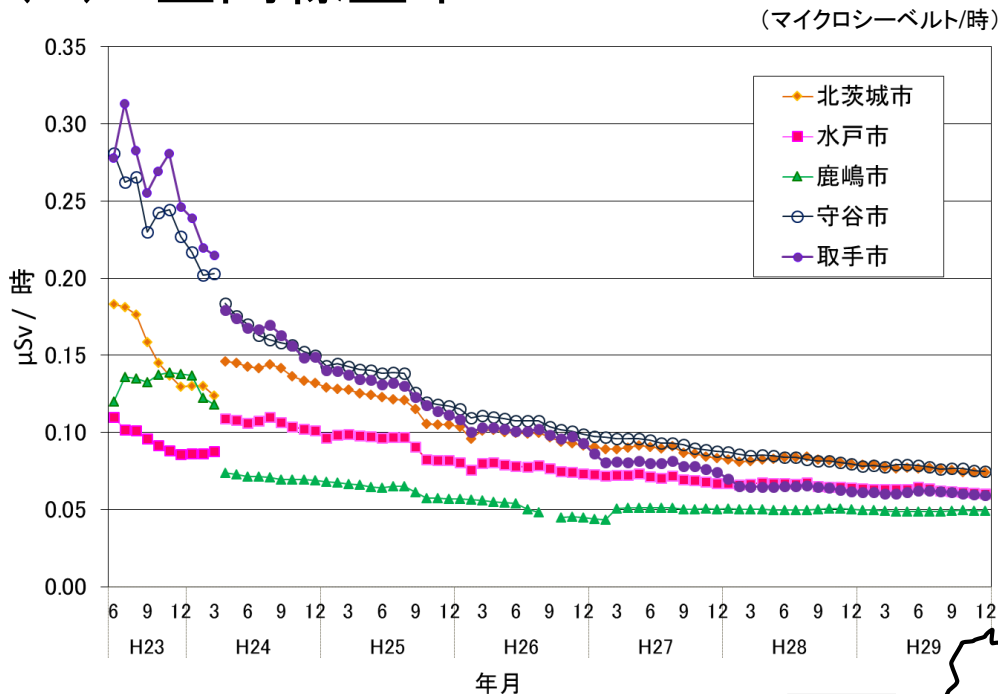


図 平成23年度以降に測定した1m高さの空間放射線量率の変動(H29.12まで)

【備考】

- ・H23.6～H24.3は、可搬型モニタリングポストまたはサーベイメータで測定
- ・H24.4から全ての地点でモニタリングポストによる測定を開始。これに伴い、一部の測定地点を移動
- ・鹿嶋市のH26.9は、モニタリングポスト点検のため、欠測

表 空間線量率の最大値(H30.1.15)

	市町村	空間線量率 (マイクロシーベルト/時)
最大	北茨城市	0.073

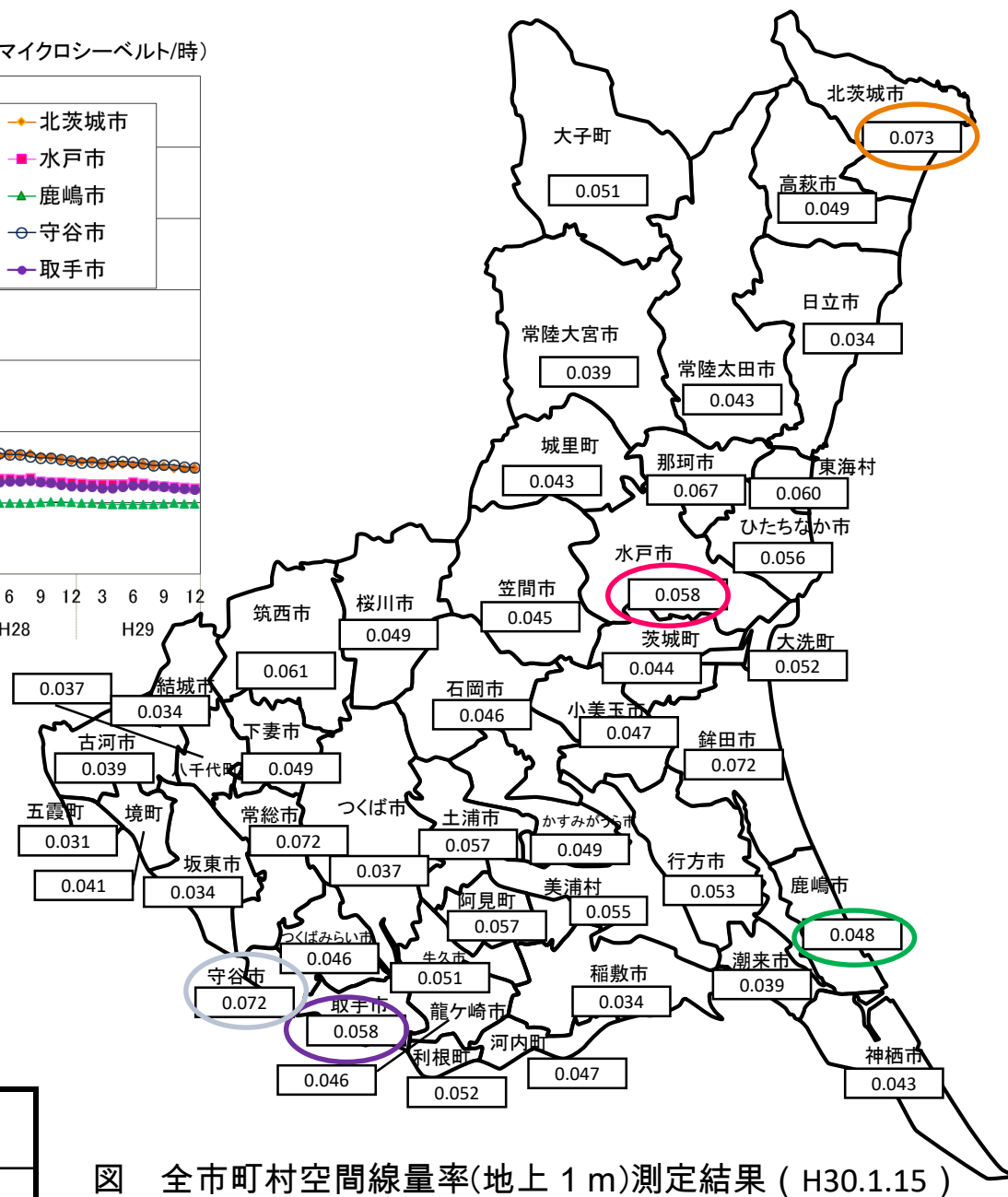


図 全市町村空間線量率(地上1m)測定結果 (H30.1.15)

2. 海水浴場の測定結果(県環境対策課)

- 測定期間 : 平成29年4月～7月下旬
- 測定回数 : 全5回
- 対象海水浴場 : 18海水浴場

表 平成29年度第5回(7月末)海水中の放射能濃度測定結果

	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs	^3H (トリチウム)
海水(Bq/L)	ND	ND	ND	ND

ND; 検出下限値未満(^{131}I , ^{134}Cs 及び ^{137}Cs :1Bq/L, ^3H (トリチウム):20Bq/L)

表 平成29年度第5回(7月末)海水浴場の放射線量率測定結果※1

	測定結果	備考
放射線量率 (マイクロシーベルト/時)	0.03～0.06※2	・測定高さ・・・ 砂浜表面, 高さ50cm, 高さ1m ・1海水浴場あたり5地点の測定結果 の平均値

※1 : 姥の懐マリプールは砂浜がないため, 測定対象外

※2 : 測定結果は, 県が沿岸の市町村(モニタリングポスト)で測定した放射線量率(1m高さ)(0.04～0.08 μSv /時)に比べ同程度又はそれ以下

3. 海水・海底土の測定結果(原子力規制委員会)

- 測定期間 : 平成23年5月～平成29年8月
- 対象地点数 : 茨城県沖約10～40km 10地点
- 測定回数 : 地点ごとに1回※

※過去の測定結果と比較し、傾向が異なる場合、再度測定し確認

○ 測定結果(平成29年8月) 表 海水測定結果

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/L})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
表層	ND-0.00047	0.11(H23.9.8)	0.0016-0.0037	0.13(H23.9.8)
下層	ND-0.00027	0.068(H23.9.7)	0.00057-0.0035	0.085(H23.9.7)

※ ND ; 検出下限値未満(0.001Bq/L程度)

表 海底土測定結果

	$^{134}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$		$^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土})$	
	結果	過去最大	結果	過去最大
海底土	ND～10	440(H23.9.8)	0.46～79	520(H23.9.8)

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/kg・乾土程度)

※海水、海底土の検出下限値は国の目標とする測定精度を示す
実測でこの値より小さい値が出ることもあるが、国ではそのまま公表している

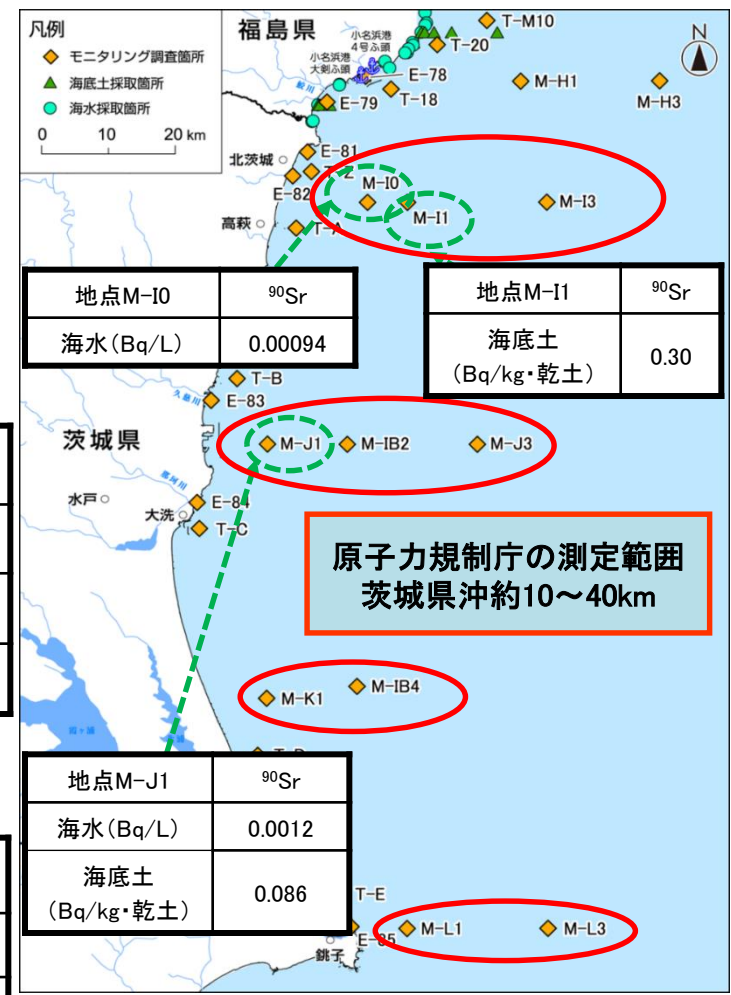


図 茨城県沖の海域モニタリング地点 (平成25年4月以降) (出典;原子力規制庁等)

4. 公共用水域の水質・底質測定結果

(1) 茨城県内の河川・湖沼・ダム等(環境省)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成29年11月
- 対象河川等数 : 77 河川・湖沼・沿岸域・ダム
- 測定回数 : 25回(22回※)

※ 括弧内はダムの測定回数
平成24年10月から計22回実施

○ 測定結果(第25回:平成29年11月)

表 水質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
水質	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

表 底質測定結果

	$^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
底質	ND～1,540	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

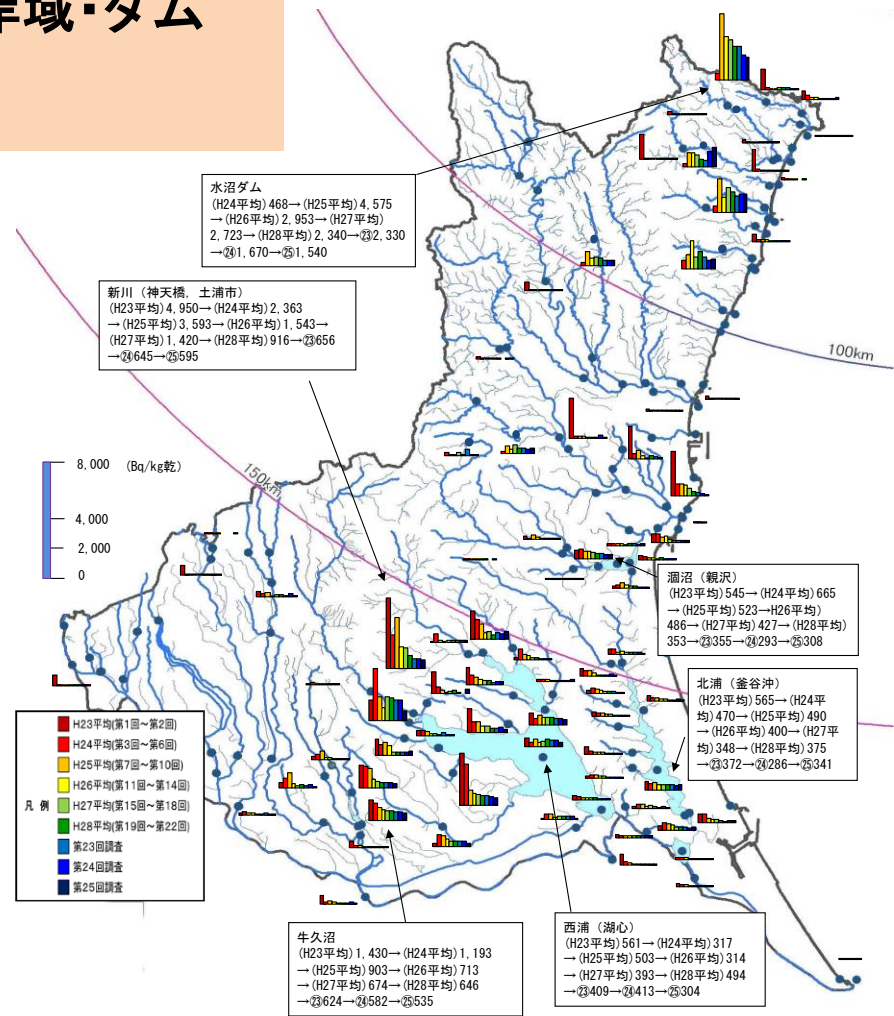


図 公共用水域等の放射性物質モニタリング調査結果(底質の放射性セシウム濃度) 出典; 県環境対策課

(2) 霞ヶ浦流入河川及び湖内(環境省・県)

- 測定期間 : 平成23年8月～平成29年11月
- 対象河川等数 : 64河川・水路・霞ヶ浦湖内
- 測定回数 : 25回

- 測定結果
(第25回:平成29年11月)

表 水質測定結果

水質	$^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}(\text{Bq/L})$	
	結果	過去最大
	ND	ND

※ ND ; 検出下限値未満(1Bq/L)

表 底質測定結果

底質	$^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}(\text{Bq/kg乾土})$	
	結果	過去最大
	ND～649	5,800(H24.2.21)

※ ND ; 検出下限値未満(10Bq/kg)

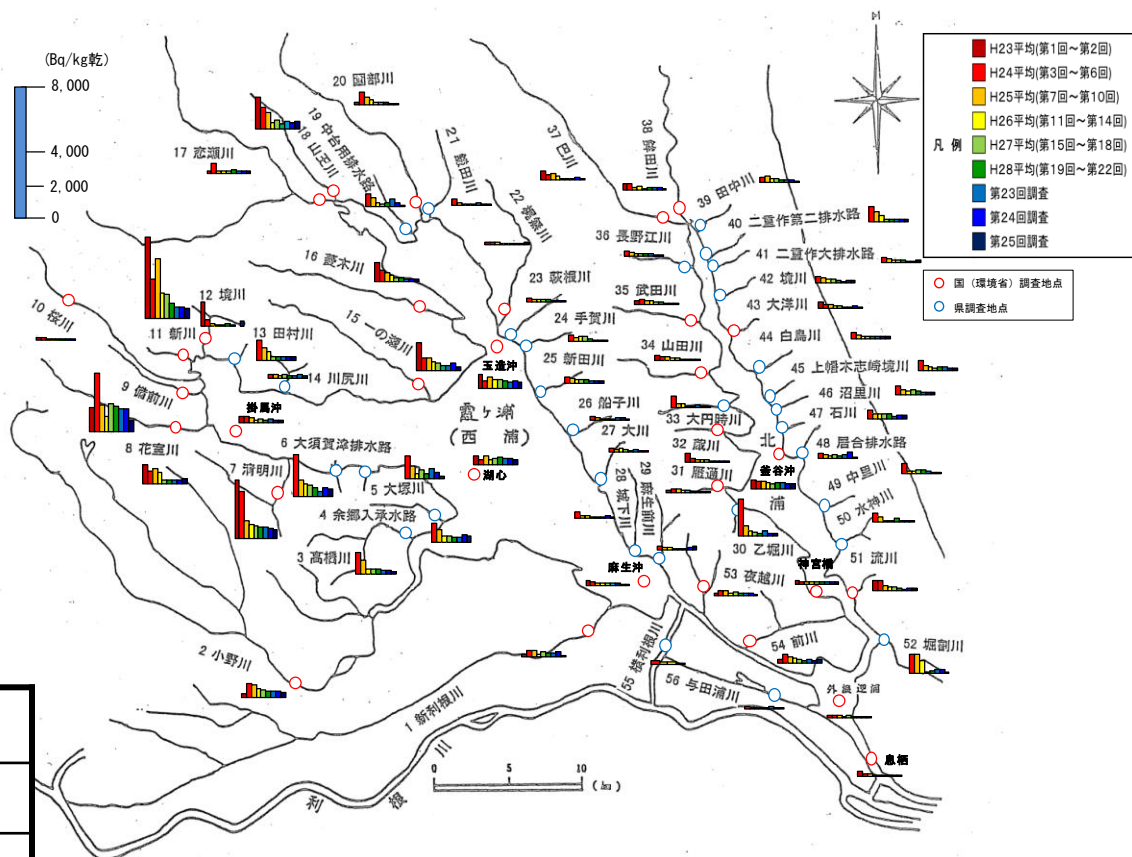


図 霞ヶ浦流入河川の底質の放射性物質モニタリング調査結果
(底質の放射性セシウム濃度) 出典; 県環境対策課

5. 農畜水産物の出荷制限, 自粛, 解除の状況

(1) 測定状況(平成30年1月17日現在)

- 対象 : 穀類, 野菜類, 畜産物, 魚介類, 茶等
- 品目数(検体数) : 331 品目(191,326 検体)

(2) 出荷制限・自粛の状況(平成30年1月16日現在)

		出荷制限・自粛を行っている品目		平成29年度の 放射性セシウム 測定結果(Bq/kg) ※平成29年12月31日現在	これまで出荷制限・ 自粛となった品目数	過去最大値 ※平成23年3月以降
		品目数	品目			
農 産 物	野菜類	0	-	N.D.	3(全て解除)	放射性セシウム:2,110
	特用林 産物	6	原木シイタケ, タケノコ, こしあぶら(野生), 野生きのこ(菌根性きのこ類), 乾シイタケ, たらめ(野生) ※いずれも一部市町村	N.D.~59.3	7(1品目で解除)	放射性セシウム:8,000
	茶	0	-	N.D.~0.35	1(全て解除)	(茶葉)放射性セシウム:1,030 (飲用茶)放射性セシウム:19
畜産物		0	-	N.D.	1(全て解除)	放射性セシウム:420
野生鳥獣の 肉類		1	イノシシ肉 ※県内全域(石岡市は全頭検査にて出荷可能)	-	1	放射性セシウム:1,040
魚 介 類	海産	0	-	N.D.~13	28(全て解除)	放射性セシウム:1,374
	内水面	2	アメリカナマズ, ウナギ ※いずれも一部河川等で採捕されたもの	N.D.~48.5	6(4品目で解除)	放射性セシウム:330

【備考】 放射性セシウム(¹³⁴Cs, ¹³⁷Csの合計)の基準値 飲料水;10 Bq/kg, 牛乳;50 Bq/kg 一般食品;100 Bq/kg

【出荷制限等解除の条件】(「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」原子力災害対策本部より抜粋)
 ◆ 1市町村当たり3か所以上、直近1か月以内の検査結果がすべて基準値以下であること。※測定値の不確かさについても考慮すること(繰り返し分析を行っても基準値を超える分析値が出ないことが統計的に見て推定できること)

- 出荷制限・自粛及び解除の状況(平成29年8月8日以降)
 - ◆ 出荷制限解除:タケノコ(9月6日潮来市,12月4日ひたちなか市), 原木シイタケ(露地8月8日行方市一部)
 - ◆ 出荷自粛解除:原木シイタケ(施設8月10日・露地1月16日石岡市一部, 施設10月25日日立市一部)